

## 災害時帰宅困難者体験訓練

コース  
初動事業

災害時帰宅困難者体験訓練実行委員会

■ 交付決定額 100,000 円  
(事業予算 390,000 円)

### 事業の概要

「豊中市を縦断する上町断層帯佛念寺山断層を震源とする大地震発生。千里ニュータウンへ通勤・通学している人は徒歩で帰宅せざるをえなくなった」ことを想定し、帰宅困難訓練を行います。



受付ポイントで地図をもらってスタート



### ◎活動の様子（平成28年度）

「歩いて家に帰れますか?」。この言葉を合言葉として、災害時帰宅困難者体験訓練実行委員会は、今年も災害で帰宅困難なときの対応を誰でも体験することができる訓練を9月9日（金）に実施しました。今回は新御堂筋沿線（新大阪駅～千里中央駅）を歩く従来からの個人参加ルートに加え、今後の活動の拡大に向けて、団体の行動訓練も新たに実施。中津～新大阪、江坂～小曾根、千里中央～山田の団体用のルートが新設されました。ルートの各区間の距離や所要時間のめやすはホームページで確認でき、参加希望者は無理なく歩けるルートを申し込むことができます。



案内板は暗闇でもよく見えました



団体ルートでの訓練も開始!

当日は午後5時から9時までの間に訓練が行われました。個人の参加者は、スタート・ゴール地点を当日のお出かけや仕事などの都合に合わせて、沿線の最寄りの駅（新大阪駅、江坂駅、緑地公園駅、桃山台駅、千里中央駅）の受付ポイントから選び、9時までに自分が決めたゴール地点に到着すればいいことになっています。団体参加者はそれぞれが計画した訓練ルートにしたがって、そろって出発しました。江坂から小曾根のルートを歩いたのは、小曾根小学校区のみなさん。この訓練を小曾根小学校区地域自治協議会の「防災セミナーまち歩き」と位置付け、協議会や災害対策委員会から約40人が参加しました。また、浅利敬一郎市長も訓練に参加し、桃山台から緑地公園を歩きました。

子ども連れの個人参加者は「今回で2回目です。前は子どもが小さくベビーカーを押しながら歩いたので、緑地公園から江坂まで3時間かかってしまいました。それでもこの訓練に参加するのは、やはり災害が起こったときに備えたい思いが強いからです」とのこと。いつ起こるかわからない災害に備え、地域で、そして個人で帰宅するための安全ルートを実際に歩いてみることの大切さを、参加者の熱意から実感することができました。



足元を見ると歩道にも案内が...